

受付番号
倫理第 1076 号
研究課題名
肝細胞癌の腫瘍マーカーの推移による予後予測
研究期間
2015 年 12 月 21 日から 2018 年 3 月 31 日まで
研究の目的・方法
治療前後の腫瘍マーカーの推移、陽性個数によって、予後の悪い肝細胞癌の予測を目的とします。肝細胞癌治療例の臨床病理学的なデータを後方視的に集積します。対象症例の治療前後の腫瘍マーカーの推移、陽性個数が臨床病理学的因子や再発・予後とどのような関連性を有するか解析し、予後不良群の予測因子を解析します。
研究の対象となる方
2005 年 1 月から 2015 年 11 月までに肝細胞癌に対して切除、ラジオ波凝固療法、肝動脈化学塞栓療法、全身化学療法、放射線治療などの治療を行った肝細胞癌患者様。
研究に利用する試料・情報
<ul style="list-style-type: none"> ・ 治療前後の腫瘍マーカー（AFP、AFP-L3、PIVKA-II） ・ 治療前データ（年齢・性別・腫瘍径・腫瘍個数・腫瘍占拠部位・採血データ・等） ・ 周術期データ（切除、ラジオ波凝固療法の場合）（術式・手術時間・出血量・腫瘍肉眼型・等） ・ 治療後データ（採血データ、病理組織学的診断・再発日・再発形式・全生存期間・無再発生存期間・転帰・等）
研究機関の名称並びに研究機関の長及び研究責任者の氏名
研究機関の名称：熊本大学大学院生命科学研究部
研究機関の長：西村 泰治
研究責任者：馬場 秀夫 消化器外科学 教授
研究に関する資料の入手・閲覧について
ご要望があれば、患者様とご家族が読まれる場合に限り、他の患者様の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内において、この研究の計画書をご覧いただけます。下記担当者までご連絡ください。
個人情報の取り扱いについて
<ol style="list-style-type: none"> 1. 個人情報は研究のために特定した目的、項目に限り適正に取得、利用します。 2. 取得した情報を用いて解析した研究の結果は、論文や学会発表として公表されますが、公表される情報には個人を特定し得る情報は含まれませんのでご安心ください。 3. 取得した情報は万全な安全管理対策を講じ、適切に保護し慎重に取り扱います。 4. 個人が特定できる情報が熊本大学から外部に出ることはありません。 5. 本研究で取得し管理している情報に関して、開示、訂正、削除、あるいは第三者への開示、提供の停止を希望される方は、担当医師までご相談ください。 6. 一般的な質問や苦情がある方は、下記の対応窓口までご連絡ください。
利益相反について
本研究の公正さに影響を及ぼすような利害関係はありません。本研究における利益相反に関する状況

は、熊本大学大学院生命科学研究部等臨床研究利益相反審査委員会の審査を経て、熊本大学大学院生命科学研究部長へ報告しています。

お断りのお申し出について

この研究に、ご自分のデータを使用してほしくないと思われる場合は、その旨下記の対応窓口までお申し出ください。それまでに収集されたデータを一切使わないようにすることができます。その場合でも、通常の診療などで不利益を受けることは全くありません。上記の調査期間中であれば、いつでもお断りいただけます。

お問合せ・ご相談への対応窓口

熊本大学生命科学研究部 消化器外科学

担当者：別府 透、今井克憲、新田英利、東 孝暁、高城克暢、甲斐田剛圭

－連絡先－

熊本大学医学部附属病院 消化器外科

〒860-8556 熊本県熊本市中央区本荘 1-1-1

電話 096-373-5540/096-373-5544 消化器外科外来（EFブロック）